



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 オーベクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3583 URL <http://www.aubex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大竹 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 野北 明臣 TEL (03) 6701-3036
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,047	24.3	285	—	246	—	222	563.4
22年3月期第2四半期	1,648	△10.2	△2	—	△28	—	33	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	17.46	—
22年3月期第2四半期	2.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	4,722	1,897	40.1	147.70
22年3月期	4,594	1,674	36.4	131.45

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,893百万円 22年3月期 1,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.00	0.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	15.7	430	231.8	380	399.7	330	194.8	25.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 () 除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	15,463,116株	22年3月期	15,463,116株
23年3月期2Q	2,645,201株	22年3月期	2,751,270株
23年3月期2Q	12,747,716株	22年3月期2Q	12,714,866株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であり、あります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で企業業績の改善、立ち直りがみられたものの、欧米の景気減速への懸念や急激な円高の進行、依然デフレ状況であることなどから、景気の先行きは不透明で厳しい経営環境が続いております。

当社グループが関連するテクノ製品業界におきましては、顧客の在庫調整一巡により需要が回復し、引き続き堅調に推移しました。メディカル製品業界では、医療費抑制の影響の中、品質、価格面で一段と競争の厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、製品の拡販とコスト削減に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,047百万円(前年同四半期比24.3%増)、営業利益285百万円(前年同四半期 営業損失2百万円)となりました。

セグメント別に見ますと、テクノ製品事業は売上高1,723百万円、営業利益473百万円となり、メディカル製品事業は売上高323百万円、営業損失55百万円となりました。

経常損益及び四半期純損益は、経常利益246百万円(前年同四半期 経常損失28百万円)となり、四半期純利益222百万円(前年同四半期比563.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ127百万円増加し、4,722百万円となりました。これは主に、現金及び預金148百万円の増加、仕掛品35百万円の増加などによるものです。

負債では前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、2,825百万円となりました。これは主に、長期借入金84百万円の減少、社債30百万円の減少、賞与引当金39百万円の増加などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ222百万円増加し、1,897百万円となりました。これは主に、利益剰余金222百万円の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し、646百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、313百万円の資金の増加となりました。これは主に、売上債権の増加による61百万円はありましたが、税金等調整前四半期純利益247百万円、減価償却費98百万円、賞与引当金の増加額39百万円などがあったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10百万円の資金の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出34百万円、敷金の差入による支出28百万円、定期預金の預入による支出27百万円などがありましたが、定期預金の払戻による収入63百万円、敷金の回収による収入36百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、135百万円の資金の減少となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出104百万円、社債の償還による支出30百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成22年8月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

2 固定資産の減価償却の算定方法

固定資産の減価償却費の算定に当たり、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理の変更)

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ183千円減少しております。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間は、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,110	507,818
受取手形及び売掛金	992,738	959,202
商品及び製品	28,180	36,048
仕掛品	533,780	498,067
原材料及び貯蔵品	163,878	154,620
その他	105,346	91,905
貸倒引当金	△11,735	△11,502
流動資産合計	2,468,299	2,236,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,988,170	2,000,401
減価償却累計額	△1,248,962	△1,222,786
建物及び構築物(純額)	739,208	777,615
機械装置及び運搬具	1,967,576	1,945,531
減価償却累計額	△1,594,113	△1,551,157
機械装置及び運搬具(純額)	373,463	394,373
土地	722,523	722,523
リース資産	113,545	126,635
減価償却累計額	△64,594	△69,924
リース資産(純額)	48,950	56,711
建設仮勘定	6,336	98
その他	291,198	283,444
減価償却累計額	△231,643	△226,933
その他(純額)	59,554	56,510
有形固定資産合計	1,950,037	2,007,832
無形固定資産		
特許権	12,046	11,518
のれん	17,010	22,680
リース資産	4,835	6,541
その他	8,348	8,437
無形固定資産合計	42,240	49,178
投資その他の資産		
投資有価証券	141,805	144,462
長期貸付金	1,120	1,520
出資金	170	170
その他	129,615	160,351
貸倒引当金	△36,442	△38,836
投資その他の資産合計	236,269	267,667
固定資産合計	2,228,546	2,324,677
繰延資産		
開業費	21,942	29,620
社債発行費	3,761	4,412
繰延資産合計	25,704	34,033
資産合計	4,722,550	4,594,871

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	319,671	325,257
短期借入金	64,173	68,171
1年内返済予定の長期借入金	201,500	207,460
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	25,488	26,484
未払法人税等	27,914	25,704
賞与引当金	57,730	18,676
その他	114,200	92,752
流動負債合計	870,678	824,505
固定負債		
社債	160,000	190,000
長期借入金	1,421,560	1,499,980
リース債務	28,756	37,303
繰延税金負債	6,605	7,596
再評価に係る繰延税金負債	42,023	42,023
退職給付引当金	242,825	232,783
役員退職慰労引当金	—	24,558
負ののれん	52,040	60,714
その他	1,030	408
固定負債合計	1,954,842	2,095,370
負債合計	2,825,521	2,919,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	487,823	488,765
利益剰余金	△99,799	△322,332
自己株式	△291,264	△307,029
株主資本合計	2,036,593	1,799,238
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,826	△8,376
土地再評価差額金	△87,536	△87,536
為替換算調整勘定	△47,068	△32,320
評価・換算差額等合計	△143,431	△128,233
少数株主持分	3,866	3,990
純資産合計	1,897,028	1,674,995
負債純資産合計	4,722,550	4,594,871

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,648,235	2,047,999
売上原価	1,258,046	1,318,833
売上総利益	390,188	729,166
販売費及び一般管理費	392,522	443,216
営業利益又は営業損失(△)	△2,334	285,949
営業外収益		
受取利息	287	393
受取配当金	851	779
負ののれん償却額	8,673	8,673
貸倒引当金戻入額	1,613	2,391
その他	3,356	3,707
営業外収益合計	14,783	15,946
営業外費用		
支払利息	30,720	24,603
為替差損	2,862	21,480
その他	7,441	9,757
営業外費用合計	41,024	55,841
経常利益又は経常損失(△)	△28,575	246,053
特別利益		
投資有価証券売却益	281	—
賞与引当金戻入額	53,214	—
退職給付引当金戻入額	27,964	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	742
出資金清算益	—	1,266
その他	208	—
特別利益合計	81,669	2,009
特別損失		
固定資産除却損	11	5
投資有価証券売却損	—	270
投資有価証券評価損	2,025	—
特別損失合計	2,036	276
税金等調整前四半期純利益	51,057	247,786
法人税、住民税及び事業税	14,427	23,536
法人税等調整額	△990	△990
法人税等合計	13,437	22,545
少数株主損益調整前四半期純利益	—	225,241
少数株主利益	4,077	2,709
四半期純利益	33,542	222,532

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	51,057	247,786
減価償却費	109,784	98,319
のれん償却額	5,670	5,670
負ののれん償却額	△8,673	△8,673
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,299	10,041
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△24,558
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,174	39,054
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,471	△2,161
繰延資産償却額	6,727	6,114
受取利息及び受取配当金	△1,139	△1,173
支払利息	30,720	24,603
為替差損益(△は益)	4	8,499
有形固定資産除却損	11	5
投資有価証券売却損益(△は益)	△281	270
投資有価証券評価損益(△は益)	2,025	—
出資金清算益	—	△1,266
売上債権の増減額(△は増加)	137,291	△61,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	140,813	△37,962
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,131	10,673
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,477	21,142
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,052	△5,448
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△26,026	722
その他の固定資産の増減額(△は増加)	413	21,174
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	6,555
小計	373,847	358,173
利息及び配当金の受取額	1,139	1,189
利息の支払額	△30,676	△24,471
法人税等の支払額	△5,027	△21,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	339,284	313,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,138	△27,001
定期預金の払戻による収入	—	63,022
貸付けによる支出	△800	△300
貸付金の回収による収入	1,430	1,170
有形固定資産の取得による支出	△12,608	△34,453
無形固定資産の取得による支出	△603	△2,896
投資有価証券の取得による支出	△624	△918
投資有価証券の売却による収入	4,646	4,854
出資金の回収による収入	—	1,266
敷金の差入による支出	—	△28,296
敷金の回収による収入	—	36,949
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△2,934	△2,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,632	10,796

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△115,000	△3,998
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△104,100	△104,380
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
設備関係割賦債務の返済による支出	△14,262	△13,517
リース債務の返済による支出	△17,609	△13,311
自己株式の売却による収入	106	9,387
自己株式の取得による支出	△295	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,161	△135,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,928	△3,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,561	184,313
現金及び現金同等物の期首残高	314,161	462,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	340,722	646,985

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	テクノ事業 (千円)	メディカル 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,264,094	382,820	1,320	1,648,235	—	1,648,235
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14,580	14,580	(14,580)	—
計	1,264,094	382,820	15,900	1,662,815	(14,580)	1,648,235
営業利益又は営業損失(△)	138,935	△18,122	7,092	127,905	(130,239)	△2,334

(注) 1 事業区分は、製品の種類・性質等の類似性及び内部管理上採用している区分を考慮して決定しております。

2 各区分の主な製品

テクノ事業……………サインペン先、コスメティック

メディカル事業……………医療機器(薬液注入器等)

その他の事業……………不動産賃貸

3 会計方針の変更

第1四半期連結会計期間より退職給付債務の計算方法を、原則法から簡便法(期末自己都合要支給額)に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、テクノ事業の営業利益は4,682千円増加し、メディカル事業の営業損失は593千円減少し、全社の営業損失は1,531千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	欧州	北米	中南米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	333,805	182,088	70,839	457,848	13,220	1,057,803
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	1,648,235
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.3	11.0	4.3	27.8	0.8	64.2

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………ドイツ、イタリア、フランス

(2) 北米……………米国

(3) 中南米……………メキシコ、ペルー、コロンビア

(4) アジア……………韓国、中国、パキスタン、タイ、マレーシア

(5) その他……………南アフリカ、イラン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「テクノ製品事業」及び「メディカル製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「テクノ製品事業」は、サインペン先・コスメティックの製造販売をしております。「メディカル製品事業」は、医療機器の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,723,670	323,008	2,046,679	1,320	2,047,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	14,580	14,580
計	1,723,670	323,008	2,046,679	15,900	2,062,579
セグメント利益又は損失(△)	473,113	△55,355	417,758	7,851	425,610

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	417,758
「その他」の区分の利益	7,851
全社費用(注)	△139,661
四半期連結損益計算書の営業利益	285,949

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。